

金山町財政中期計画

令和5年2月策定

総合政策課

1. はじめに

この中期計画は令和4年度の決算見込みから令和8年度までの5年間の見通しをもとに作成しています。

将来の財政見通しに課題が生じていたことから、令和2年6月から健全化に向けた動きを加速し、令和3、4年度には中央公民館の機能移転やグリーンバレー神室の経営見直しなど、財政状況に大きく影響する事業の本質的な見直しを進めてきました。

本計画の試算にあたり、グリーンバレー神室の運営費については「スキー場は民間譲渡か廃止、ホットハウスは改修し継続。グリーンバレー神室一帯で年間3千万円の運営費負担。」で試算をしたところです。

令和4年度は閉塞感を打破する「新たな道」を切り開く「リ・スタート」の年として事業計画を行ってきました。そして、令和5年度は攻勢への転向年度と位置付け、健全な財政を潤滑油に政策を実行していきます。

【金山町の人口構成等の推移】

区 分	2022	2025	2030	2035	2040	2050
総人口	4,981	4,814	4,376	3,963	3,549	2,775
0～14 歳	482	524	471	417	369	286
15～39 歳	985	948	845	789	680	516
40～64 歳	1,596	1,425	1,219	1,101	1,003	789
65 歳以上	1,918	1,917	1,840	1,656	1,497	1,183
(うち75歳以上)	975	1,026	1,078	1,111	1,050	765
生産人口率	51.8	49.3	47.2	47.7	47.4	47.0
(15～64歳人口)	2,581	2,373	2,064	1,890	1,683	1,305
高齢化率	38.5	39.8	42.1	41.8	42.2	42.6

・2022年は12月末現在の住民基本台帳人口、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の推計値を使用。

※令和4年度に実施した一般財団法人地域活性化センターによる人口推計では2027年4,390人、2032年3,793人、2037年3,234人、2042年2,705人、2052年1,800人となり、上記よりも減少率が高くなる試算となっています。

2. 試算の前提条件、考え方など

①試算期間、条件

一般会計を中心とし、令和4年度から令和8年度までの5年間が計画期間です。

令和4年度の決算見込みや令和5年度の当初予算案をベースに、現行の制度が継続すると仮定し、現時点で予定されている事業計画を踏まえ積算をしました。

1月末現在の試算のため、繰越事業の反映はしていません。また、グリーンバレー神室一帯については一部民間委託の公募状況や令和5年9月までに決定する方針により試算内容の変更が想定されます。また事業全体について、社会情勢や健全化策により事業実施年度を変更していきます。

②年度別の見通しと項目別の考え方

一般会計の年度別積算内容は5ページに掲載しています。

各項目の考え方は以下のとおりです。

【歳入】

町税	R5見込みをベースに試算。 R6は固定資産税の評価替え年度により減少。
譲与税、交付金	地方財政対策のR5見込みをベースに積算。
地方交付税	R6まで地方財政対策で同水準維持とされている。 普通交付税は、地方財政計画の伸び率をベースに試算。 デジタル社会推進費がデジタル田園都市国家構想事業費の一部としてR7まで延長。R5,6はマイナンバーカード利活用特別分が加算。R4の小学校統合や国勢調査人口の減少の影響を約2千万円と見込む(激変緩和措置がある前提での試算)。 特別交付税は、診療所病床分のコロナの影響を踏まえた激変緩和措置が3年程度でなくなる前提とし、診療所無床化に伴う減少を約5千万円と見込む。R7,8年度までのデジタル人材育成事業の加算を見込む。
使用料及び手数料	住宅使用料やゴミ処理手数料などR5ベースで試算。
国庫支出金	障害者支援や農業支援など約2億円を通常ベースとし、大規模な工事などの特殊要因を加算。
県支出金	障害者支援や農業支援など約1億6千万円を通常ベースとし、大規模な工事などの特殊要因を加算。

財産収入	光ファイバー網貸付料などの通常ベース約8百万円で試算。
繰入金	普通交付税の見込みをベースに不足する財源を基金繰入で補てん。財政運営基金2億～3億円程度、その他に資産活性基金などの特目基金の繰入で財源不足を調整。公債費の増加が見込まれるR9以降は減債基金繰入金を予定。
繰越金	年度の歳入、歳出の差額
寄附金	ふるさと寄附をR4から1億円で試算。
地方債	過疎債1億5千万円、その他5千万円の合計2億円をベースに、大規模な工事などの要因を加算。

【歳 出】

グリーンバレー神室の運営費については「スキー場は民間譲渡か廃止、ホットハウスは改修。グリーンバレー神室一帯で年間3千万円の運営費負担。」で試算。

人件費	R5 予算をベースに試算。
扶助費	R5 予算をベースに試算。
公債費	現在予定している事業計画を踏まえ試算。
物件費	R5 予算をベースに試算。
維持補修費	R5 予算をベースに除排雪経費や道路維持を試算。
補助費	R5 予算や最上広域事務組合の財政計画をベースに試算。R6 から集落排水、公共下水道が公営企業会計に移行するため繰出金から補助金となる。
積立金	前年度繰越金の1/2相当と余剰金に応じて試算。
繰出金	R5 予算や各会計のシミュレーションや事業計画をベースに試算。直診は1億円で推計。介護保険は1億8千万円、後期高齢は8千5百万円、集落排水と公共下水道は経営計画に沿った試算としている（R6 から公営企業会計移行のため補助費へ）。
投資的経費	投資的事業計画をベースに単独事業費2千万円程度を上乗せ。下記は主な特殊要因。 R6、7：金山小プール改修 1億6,000万円（うち起債1億100万円）

	<p>R5 : (仮) 中央公園整備 (旧中央公民館解体、駐車場) 2億1,075万円 (うち起債2億1,060万円)</p> <p>R6~7 : (仮) 中央公園整備 (遊具、休憩棟等) 3億円 (全額起債)</p> <p>R7、8 : 大規模ほ場整備 16億円で町負担1億6,000万円 (全額起債)</p> <p>R7、8 : 中学校大規模改修 2億3,000万円 (起債1億4,500万円)</p> <p>R6 : ホットハウスカムロ改修 5億円 (全額起債) (設計5千万円、解体1億円、改修3億5千万円)</p> <p>R5~9 : グリーンバレー神室関連改修等 1億4,000万円 (全額起債)</p>
--	--

3. 一般会計年度別財政見通し（令和5年度への繰越は含んでいない。）

年 度	令和3年度		令和4年度(決算見込み)		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	金 額	伸率	金 額	伸率	金 額	伸率	金 額	伸率	金 額	伸率	金 額	伸率	
歳 入	4,812	▲ 8.3	5,168	7.4	4,572	▲ 11.5	5,292	15.7	5,184	▲ 2.0	5,094	▲ 1.7	
主 な 内 訳	市町村税	451	▲ 1.1	457	1.3	434	▲ 5.0	433	▲ 0.2	427	▲ 1.4	427	0.0
	地方交付税	2,519	11.7	2,432	▲ 3.5	2,360	▲ 3.0	2,320	▲ 1.7	2,280	▲ 1.7	2,260	▲ 0.9
	国・県支出金	867	▲ 38.3	854	▲ 1.5	569	▲ 33.4	504	▲ 11.4	1,240	146.0	1,200	▲ 3.2
	基金繰入金	23	▲ 90.7	438	1,804.3	284	▲ 35.2	500	76.1	250	▲ 50.0	400	60.0
	地方債	178	▲ 7.3	242	36.0	459	89.7	1,024	123.1	476	▲ 53.5	346	▲ 27.3
	うち経常一般財源	2,921	9.9	2,806	▲ 3.9	2,721	▲ 3.0	2,671	▲ 1.8	2,640	▲ 1.2	2,552	▲ 3.3
歳 出	4,526	▲ 8.1	5,007	10.6	4,480	▲ 10.5	5,183	15.7	5,082	▲ 1.9	4,994	▲ 1.7	
主 な 内 訳	義務的経費	1,726	10.5	1,648	▲ 4.5	1,613	▲ 2.1	1,581	▲ 2.0	1,581	0.0	1,589	0.5
	うち人件費	805	12.1	804	▲ 0.1	810	0.7	792	▲ 2.2	782	▲ 1.3	782	0.0
	うち公債費	456	▲ 1.1	464	1.8	455	▲ 1.9	444	▲ 2.4	454	2.3	345	▲ 24.0
	投資的経費	287	▲ 34.6	483	68.3	606	25.5	1,286	112.2	1,382	7.5	1,220	▲ 11.7
	うち普通建設事業	287	▲ 31.5	483	68.3	606	25.5	1,286	112.2	1,382	7.5	1,220	▲ 11.7
	うち単独事業	162	▲ 42.8	382	135.8	500	30.9	1,061	112.2	361	▲ 66.0	310	▲ 14.1
	補助費等	718	▲ 43.6	880	22.6	734	▲ 16.6	968	31.9	791	▲ 18.3	817	3.3
	うち一部事務組合	289	0.7	291	0.7	289	▲ 0.7	318	10.0	311	▲ 2.2	297	▲ 4.5
	物 件 費	606	22.2	650	7.3	710	9.2	680	▲ 4.2	670	▲ 1.5	680	1.5
	繰 出 金	437	▲ 24.5	500	14.4	497	▲ 0.6	380	▲ 23.5	380	0.0	380	0.0
うち経常経費充当一般財源	2,497	▲ 2.7	2,538	1.6	2,503	▲ 1.4	2,542	1.6	2,538	▲ 0.2	2,621	3.3	
収 支	286	▲ 11.5	161	▲ 43.7	92	▲ 42.9	109	18.5	102	▲ 6.4	100	▲ 2.0	
基金現在高計（百万円）	1,976		2,218		2,098		1,748		1,648		1,398		
財政運営基金	1,067		922		872		572		600		600		
減 債 基 金	409		409		409		409		409		409		
特定目的基金	500		887		817		767		639		389		
経常収支比率	85.5		90.4		92.0		95.2		96.1		97.1		
実質公債費比率	10.2		10.5		11.7		13.0		13.0		13.0		
将来負担比率	9.0		2.5		3.2		37.6		43.7		44.4		
実質赤字比率	赤字なし		赤字なし		赤字なし		赤字なし		赤字なし		赤字なし		
連結実質赤字比率	赤字なし		赤字なし		赤字なし		赤字なし		赤字なし		赤字なし		

3-1. 年度別財政見直し

各年度の見込みは5ページに記載しています。主なポイントは以下のとおりです。

① 「大型普通建設事業の見直し効果により、新たな事業展開がスタートしました。」

公共施設等総合管理計画と併せて中央公民館の機能移転などを実施したことにより、将来の財政見直しが大きく改善しました。この効果は大きく、令和5年度からの新たな事業実施に結び付きました。

また現在検討を継続しているグリーンバレー神室一体のあり方については、年間3千万円ベースの町負担へ抑制が必要であると見込んでいます。もしもこのような見直しを行わない場合は、令和12年度前後に再度一般会計の赤字見通しの危険性が生じる試算です。

この経営改善は縮小ありきの考え方ではなく、新たな集客策を含めた本質的な改善によるグリーンバレー神室の更なる魅力向上のための取組みです。この実現により、観光分野の発展につなげていきます。

② 「交付税が減少するため、経常経費の削減が引き続き必要です」

4ページの「経常収支比率」については、事業見直しの効果に加えて、令和3、4年度は普通交付税の増額の影響を大きく受け、80～90%前半の推移へ改善しました。

今後は人口減少や期限付き加算分の普通交付税の減少や、コロナ禍を理由に激変緩和措置として交付されている診療所有床分の交付税措置約5千万円が数年内に減少する見込みのため、さらに限られた一般財源で経常経費を負担していくこととなります。

恒常的にニーズが高い事業、一時的に特殊要因となる事業、そして将来を見据えた長期の事業それぞれにしっかりと対応していけるよう、適正な事業規模での計画が必要です。

③ 「歳入は、交付税、基金繰入金、起債発行で財源を調整しています」

2、3ページの項目別の積算方法により、歳入を見込んでいます。

町の大部分を占める交付税は現行のルールにより予定されている増減を見込み、

普通建設事業の特殊事情には地方債を充当しています。また、令和6年度以降の全体的な財源補てんは基金繰入金により財源調整をしています。

国県支出金の積極的な活用に加え、税や料金収入の徴収率向上やふるさと納税制度による収入確保も引き続き強化します。

④「歳出は、繰出金の負担を軽減する必要があります」

3、4ページの項目別の積算方法により、歳出を見込んでいます。

繰出金では直診会計に対する一般会計からの運営費補てんがコロナワクチン接種や医療機関支援に関わる国からの財源があり、令和3年度と4年度は町負担分が通常より減少していました。上述のとおり、現在激変緩和措置として交付されている有床分の交付税措置約5千万円が数年内に減少する見込みのため、運営費の抑制や診療収入の確保対策が引き続き重要になります。

また高齢化の進行により介護給付費の増加による介護会計への繰出金は同水準で推移する見込みのため、介護予防事業や健康づくり事業を強化します。

投資的経費は現在見込まれている事業を実施する場合の試算となっており、一部の事業については、全体的な状況を見ながら実施の判断をする予定です。

⑤「起債の償還は令和9、10年度にピークとなる見込みです」

13～21ページに、起債の発行と償還の予定額を掲載しています。

一般会計については、17ページのとおり、年度別でみると今後3年間は大規模な普通建設事業を実施するため、一時的に発行額が大きくなります。また、償還額は令和9、10年度にピークとなる見込みです。償還額が増加する主な要因は17ページ下段に記載していますが、令和4年度の償還と比べると令和9年度は8千万円程度増加します。

償還額自体は交付税措置もあり、類似団体と比較しても多すぎる金額ではありませんが、恒常的に財源不足が生じているため、償還に要する財源の確保に影響が出ないよう留意が必要です。

⑥「バランスのとれた基金運用を行います」

適正な基金残高は安定したサービス提供を保障し、財政健全化比率の抑制にも影響を及ぼします。

令和3、4年度の普通交付税増額の影響で基金残高が回復したことにより、赤

字補てんの負担が一定基準内であれば、適正な基金残高を確保しながら、今後10年程度は会計の赤字は生じないものと見込んでいます。

全体の財源調整を行う財政運営基金については、農業集落排水事業や公共下水道事業の公営企業会計移行時の運転資金やこれまで計画的に積立を行ってきたデジタル化事業への活用など、数年内で5億円を取り崩す予定です。

ただし、著しい赤字補てんの負担増加や交付税の減少が大きくなれば、長期的な運用バランスは簡単に崩れることとなります。

今後の財政運営のひとつのルールとして、基金残高が5億円を下回りそうな場合はその年度の3年度前に一定の事業を停止し、一般会計が赤字にならないように改善する時間を設けることにします。ただしこれは非常に危機的な状況ですので、この前段階でしっかりと改善策を講じていきます。また各特別会計においても、経営健全化基準団体（一般会計の早期健全化団体）にならないように特に資金不足に注意が必要です。

4. 令和5年度の財政健全化策の進め方

通常の事業見直しに加えて、

- ① グリーンバレー神室の方針決定による後年度の財政見通しの明確化
- ② 収入確保の強化（税、使用料の徴収率向上、収益事業の集客等）を実施します。

「参考：財政計画に含んでいない今後想定される大規模事業」

- ・ 定住促進住宅用地の買戻し（7千4百万円）
- ・ 新庄最上地域北のゲートウェイ道の駅事業
- ・ グリーンバレー神室振興公社への増資
- ・ 公共施設等総合管理計画に含んでいない改修や解体

5. 特別会計の推計について（今後の特殊要因等）

①国民健康保険会計直診勘定

令和3年度に無床化へ移行し、財政面では下記のような変更が生じました。

- ・医療スタッフの配置替えに伴う人件費の減少（一般会計への配置替えなど）
- ・入院に係る診療収入や交付税収入の減少
- ・入院に係る療養食、薬剤費、施設維持費等経費の減少
- ・一般会計の運営費負担の減少 など

新型コロナウイルスワクチン接種事業に関連する国の支援があることや看護師の施設等への派遣により、令和3、4年度は運営費の町負担は例年より大きく減少しました。

今後も人件費の減少により緩やかに経費も減少していきませんが、新型コロナウイルスの影響や人口減少により、診療収入より一般会計からの運営費負担が上回っている状況です。今後も常勤医師の確保を目指し、収入の増加に努めていきます。

通常の診療収入は令和5年度ベースの9千万円程度、一般会計による運営費負担は約1億円で見込んでいます。

②介護保険特別会計

今後の特殊要因としては、

- ・令和5年度 第9期介護保険事業計画の策定
- ・令和6年度 第9期介護保険事業計画の開始 保険料の改定

があります。

保険料の改定は3年毎に行われ、令和3年度に新しい事業期間がスタートしましたが、介護サービスの増加による介護給付費の伸びにより、ご負担いただく保険料が高い水準になっています。

一般会計による負担は1億8千万円程度を想定していますが、次の改定年度の令和6年度に向け、令和4年度から健康寿命へつながる健康づくりと介護予防事業を町民運動として強化しながら、給付費の減少と保険料負担の軽減を目指しています。

③後期高齢者医療特別会計

令和4年度10月から医療費窓口負担が、一部の利用者について2割負担へ変更

になりました。該当者が限られるため、町負担の大きな変動はないものと見込んでいます。

一般会計による負担は8千5百万円程度で推計しています。

④農業集落排水特別会計

今後の特殊要因としては、

- ・令和5年度 有屋処理施設設備更新工事、公営企業会計移行準備
- ・令和6年度 公営企業会計への移行、有屋地区機能診断調査
- ・令和8、9年度 有屋地区管路施設更新

などがあります。

使用料や管理経費は令和5年度ベースで積算し、一般会計による負担は特別会計の事業予定や起債償還などを加味し、4千万円から3千万円程度で見込んでいます。

また、大規模な施設更新は国庫補助金や起債発行で対応していきます。

令和6年度の公営企業会計への移行時は、通常の一般会計補助金に加え、運営資金としてさらに5千万円程度を上乗せする必要があります。

※財政計画では令和6年度に財政運営基金繰入金により会計移行時の財源を確保していますが、令和5年度内に現在の特別会計が同資金を一旦所有し新会計に移行する場合があります。

⑤公共下水道特別会計

今後の特殊要因としては、

- ・令和4、5年度 施設長寿命化のためのストックマネジメント策定
- ・令和5年度 公営企業会計移行準備
- ・令和6年度 スtockマネジメントに基づく処理施設更新の開始、
公営企業会計への移行

などがあります。

使用料や管理経費は令和5年度ベースで積算し、一般会計による負担は特別会計の事業予定や起債償還などを加味し、1億円程度を見込んでいます。

また、大規模な施設更新は国庫補助金や起債発行で対応していきます。

令和6年度の公営企業会計への移行時は、通常の一般会計補助金に加え、運営資金としてさらに1億円程度を上乗せする必要があります。

※財政計画では令和6年度に財政運営基金繰入金により会計移行時の財源を確保していますが、令和5年度内に現在の特別会計が同資金を一旦所有し新会計に移

行する場合があります。

⑥水道会計

今後の特殊要因としては、

- ・令和5年度 稲沢地内配水管更新工事、配水池耐震化（令和6年度まで）
- ・令和6年度 施設整備計画に基づく施設統廃合の実施、耐震化・老朽化管路更新工事

などがあります。

使用料や管理経費は令和5年度ベースで積算し、一般会計による負担は特別会計の事業予定を加味し5千万円程度を見込んでいますが、使用料の減少もあり当面の運営資金として、令和4年度に3千万円、令和5、6年度に2千万円ずつ、合計7千万円を経営安定補助金として支出します。

ポンプ場や調整池等は整備後約50年が経過した老朽化施設で更新が必要です。

今後の使用料収入に適した施設の統廃合や管路のダウンサイジングを計画的に進めていきます。

6. 今後の財政健全化に向けて

～「課題の本質を解決することが新しい道を切り開く」～

今後の事業を計画する場合に、直近の単年度決算や基金残高の良し悪しで事業の実施を決めることはありません。長期的な財源確保が可能かどうかなど、少なくとも今後10年程度は問題がないことが前提になります。

令和3年度は「新陳代謝のR3～令和を生き抜く持続可能なまちづくりを」、令和4年度は「リ・スタート」をスローガンに、公共施設の集約化や本質的な町の課題解決に取り組んだ結果、財政運営の余力を生み、新しい事業展開に結び付けました。

「行政サービスは赤字でも仕方がない。赤字分は町が負担すべきだ」という考えが財政悪化の要因になることは言うまでもなく、特に人口減少が進んでいく時代にはこのように改善策のない消極的な考え方は通用しないものと捉えています。

令和5年度からは「金山に住んでよかった。金山に来てよかった。」と、町の事業が多くの人々の心に響くような攻勢へ転向し、まちづくりを進めていきます。

起債一覽表

発行額：通常ベース 2 億円+特殊要因

特殊事情（借入額）：

- ① R 5（仮）中央公園整備事業（旧中央公民館解体、駐車場等）
2 億 1, 0 6 0 万円
- ② R 6、7（仮）中央公園整備事業（遊具、休憩棟等） 3 億円
- ③ R 6 ホットハウスカム口改修事業（既存施設解体込み） 5 億円
- ④ R 6、7 金山小プール 1 億 1 0 0 万円
- ⑤ R 6 体育施設改修事業 1 億 8 0 0 万円
- ⑥ R 7、R 8 大規模ほ場整備負担分 1 億 6, 0 0 0 万円
- ⑦ R 7、8 金山中大規模改修 1 億 4, 5 0 0 万円
- ⑧ R 5～9 グリーンバレー神室関連改修 1 億 4, 0 0 0 万円

単位：円

起債番号	会計名称	借入年度	起債名称	借入額
474	一般会計	令和5年度	R05臨時財政対策債	13,700,000
624	一般会計	令和5年度	R05過疎債（羽場凝山線歩道整備）	9,500,000
634	一般会計	令和5年度	R05過疎債ソフト	53,800,000
710	一般会計	令和5年度	R05辺地債（外沢橋）	17,000,000
715	一般会計	令和5年度	R05緊急自然災害防止対策事業債	39,500,000
728	一般会計	令和5年度	R05脱炭素化推進事業債	29,100,000
730	一般会計	令和5年度	R05過疎債（スクールバス）	13,000,000
731	一般会計	令和5年度	R05過疎債（消防積載車）	9,200,000
732	一般会計	令和5年度	R05過疎債（改善センター大規模改修）	25,800,000
733	一般会計	令和5年度	R05過疎債（旧中央公民館跡地整備）	210,600,000
734	一般会計	令和5年度	R05過疎債（中学校体育館LED）	13,700,000
735	一般会計	令和5年度	R05過疎債（デマンドハイヤー）	6,500,000
736	一般会計	令和5年度	R05地方道路整備事業債	17,100,000
475	一般会計	令和6年度	財政計画R06（過疎債）	110,000,000
680	一般会計	令和6年度	カム口計画R06（ホットハウス辺地）	500,000,000
711	一般会計	令和6年度	財政計画R06（消防積載車 辺地）	16,000,000
713	一般会計	令和6年度	財政計画R06（中央公園整備過疎債）	150,000,000
737	一般会計	令和6年度	カム口計画R06（ホテル備品辺地）	67,000,000
738	一般会計	令和6年度	財政計画R06（体育施設改修過疎債）	108,000,000
739	一般会計	令和6年度	財政計画R06（緊急防災・減災事業債）	49,000,000
740	一般会計	令和6年度	財政計画R06（緊自防債）	24,000,000
476	一般会計	令和7年度	財政計画R07（過疎債）	100,000,000
635	一般会計	令和7年度	財政計画R07（金山小プール工事過疎債）	95,000,000
636	一般会計	令和7年度	財政計画R07（中学校設計過疎債）	15,000,000
681	一般会計	令和7年度	カム口計画R07（ホテル外壁）	27,000,000
691	一般会計	令和7年度	財政計画R07（辺地ほ場整備8千）	80,000,000
712	一般会計	令和7年度	財政計画R07（辺地消防積載車）	9,000,000
742	一般会計	令和7年度	財政計画R07（中央公園整備過疎債）	150,000,000

起債番号	会計名称	借入年度	起債名称	借入額
637	一般会計	令和8年度	財政計画R08（中学校改修工事過疎債）	130,000,000
682	一般会計	令和8年度	カム口計画R08（ホテルエアコン辺地）	36,000,000
692	一般会計	令和8年度	財政計画R08（辺地ほ場整備8千）	80,000,000
693	一般会計	令和8年度	財政計画R08（過疎債）	100,000,000
568	一般会計	令和9年度	財政計画R09（過疎債）	200,000,000
694	一般会計	令和9年度	カム口計画R09（ホテルベッド辺地）	10,000,000
569	一般会計	令和10年度	財政計画R10	200,000,000
592	一般会計	令和11年度	財政計画R11	200,000,000
593	一般会計	令和12年度	財政計画R12	200,000,000
594	一般会計	令和13年度	財政計画R13	200,000,000
595	一般会計	令和14年度	財政計画R14	200,000,000
596	一般会計	令和15年度	財政計画R15	200,000,000
597	一般会計	令和16年度	財政計画R16	200,000,000
598	一般会計	令和17年度	財政計画R17	200,000,000
599	一般会計	令和18年度	財政計画R18	200,000,000
600	一般会計	令和19年度	財政計画R19	200,000,000
601	一般会計	令和20年度	財政計画R20	200,000,000
695	診療所	令和5年度	R05過疎債（直診）	22,500,000
743	診療所	令和15年度	R15病院事業債（直診）	22,500,000
700	農集排	令和5年度	R5集落排水事業(公営企業適用債8,000)	8,000,000
696	農集排	令和9年度	R9集落排水事業(機能強化14,800)	14,800,000
697	農集排	令和9年度	R9集落排水事業(過疎債14,700)	14,700,000
698	農集排	令和11年度	R11集落排水事業(機能強化37,300)	37,300,000
699	農集排	令和11年度	R11集落排水事業(過疎債37,200)	37,200,000
548	下水道	令和5年度	資本費平準化債R05	30,500,000
644	下水道	令和5年度	R5公営企業会計適用債15,600	15,600,000
550	下水道	令和6年度	資本費平準化債R06	26,900,000
647	下水道	令和6年度	R6下水道事業債8,500	8,500,000
701	下水道	令和6年度	R6過疎対策8,500	8,500,000
741	下水道	令和6年度	R6公営企業会計適用債5,000	5,000,000
552	下水道	令和7年度	資本費平準化債R07	26,900,000
648	下水道	令和7年度	R7下水道事業債4,500	4,500,000
702	下水道	令和7年度	R7過疎対策4,500	4,500,000
554	下水道	令和8年度	資本費平準化債R08	26,900,000
649	下水道	令和8年度	R8下水道事業債8,500	8,500,000
703	下水道	令和8年度	R8過疎対策8,500	8,500,000
586	下水道	令和9年度	資本費平準化債R09	26,900,000
650	下水道	令和9年度	R9下水道事業債20,800	20,800,000
704	下水道	令和9年度	R9過疎対策20,700	20,700,000
587	下水道	令和10年度	資本費平準化債R10	26,900,000
651	下水道	令和10年度	R10下水道事業債20,800	20,800,000
705	下水道	令和10年度	R10過疎対策20,700	20,700,000

起債番号	会計名称	借入年度	起債名称	借入額
653	下水道	令和11年度	R11下水道事業債20,800	20,800,000
706	下水道	令和11年度	R11過疎対策20,700	20,700,000
652	下水道	令和12年度	R12下水道事業債20,800	20,800,000
707	下水道	令和12年度	R12過疎対策20,700	20,700,000
654	下水道	令和13年度	R13下水道事業債2,300	2,300,000
708	下水道	令和13年度	R13過疎対策2,200	2,200,000
656	水道会計	令和5年度	R5上水道事業	40,000,000
657	水道会計	令和6年度	R6上水道事業	80,000,000
658	水道会計	令和7年度	R7上水道事業	14,900,000

年度別償還表

全会計

※システム出力値のため円単位となっています。

【参考資料】

いずれの会計も現在予定されている事業に基づく積算となっており、起債発行は随時追加される見込みです。

R4は現在の借入予定額で試算。償還期間や償還据置期間の条件で変動もあります。

(単位：円)

年度	前年度末残高 (元金)	発行額	年度末起債残高 (未償還元金)	元金	利子	償還額合計
令和4年度	5,503,573,421	348,600,000	5,204,668,564	647,504,857	39,006,524	686,511,381
令和5年度	5,204,668,564	575,100,000	5,145,153,201	634,615,363	34,570,677	669,186,040
令和6年度	5,145,153,201	1,152,900,000	5,688,103,302	609,949,899	35,248,722	645,198,621
令和7年度	5,688,103,302	526,800,000	5,612,682,228	602,221,074	43,791,655	646,012,729
令和8年度	5,612,682,228	389,900,000	5,395,608,917	606,973,311	46,591,157	653,564,468
令和9年度	5,395,608,917	307,900,000	5,030,453,550	673,055,367	45,513,044	718,568,411
令和10年度	5,030,453,550	268,400,000	4,681,951,902	616,901,648	41,386,397	658,288,045
令和11年度	4,681,951,902	316,000,000	4,398,314,124	599,637,778	38,928,386	638,566,164
令和12年度	4,398,314,124	241,500,000	4,072,108,916	567,705,208	36,444,806	604,150,014
令和13年度	4,072,108,916	204,500,000	3,733,834,081	542,774,835	34,606,616	577,381,451
令和14年度	3,733,834,081	200,000,000	3,400,514,450	533,319,631	32,918,312	566,237,943
令和15年度	3,400,514,450	222,500,000	3,092,594,100	530,420,350	31,239,013	561,659,363
令和16年度	3,092,594,100	200,000,000	2,763,347,284	529,246,816	29,211,786	558,458,602
令和17年度	2,763,347,284	200,000,000	2,518,816,901	444,530,383	27,287,507	471,817,890
令和18年度	2,518,816,901	200,000,000	2,310,964,936	407,851,965	26,139,257	433,991,222
令和19年度	2,310,964,936	200,000,000	2,158,068,749	352,896,187	25,330,294	378,226,481
令和20年度	2,158,068,749	200,000,000	2,060,732,330	298,227,952	24,390,393	322,618,345

※利子の金額は一時借入等予備を含んでいないため、予算額と一致しません。

年度別償還表

一般会計

※発行額は現在財政計画の積算へ含んでいる金額のみ反映しています。

(単位：円)

年度	前年度末残高 (元金)	発行額	年度末起債残高 (未償還元金)	元金	利子	償還額合計
令和4年度	3,912,892,377	224,200,000	3,690,617,119	446,475,258	16,259,593	462,734,851
令和5年度	3,690,617,119	458,500,000	3,709,011,435	440,105,684	15,083,463	455,189,147
令和6年度	3,709,011,435	1,024,000,000	4,307,372,260	425,639,175	18,453,050	444,092,225
令和7年度	4,307,372,260	476,000,000	4,360,572,212	422,800,048	29,202,600	452,002,648
令和8年度	4,360,572,212	346,000,000	4,280,349,502	426,222,710	34,281,710	460,504,420
令和9年度	4,280,349,502	210,000,000	3,984,859,986	505,489,516	35,358,409	540,847,925
令和10年度	3,984,859,986	200,000,000	3,711,018,171	473,841,815	32,984,234	506,826,049
令和11年度	3,711,018,171	200,000,000	3,443,603,263	467,414,908	31,921,151	499,336,059
令和12年度	3,443,603,263	200,000,000	3,177,660,534	465,942,729	30,744,307	496,687,036
令和13年度	3,177,660,534	200,000,000	2,918,788,128	458,872,406	29,685,942	488,558,348
令和14年度	2,918,788,128	200,000,000	2,660,649,910	458,138,218	28,611,810	486,750,028
令和15年度	2,660,649,910	200,000,000	2,407,774,497	452,875,413	27,271,872	480,147,285
令和16年度	2,407,774,497	200,000,000	2,155,039,081	452,735,416	25,715,344	478,450,760
令和17年度	2,155,039,081	200,000,000	1,980,696,489	374,342,592	24,194,300	398,536,892
令和18年度	1,980,696,489	200,000,000	1,841,695,715	339,000,774	23,419,681	362,420,455
令和19年度	1,841,695,715	200,000,000	1,752,968,376	288,727,339	22,963,704	311,691,043
令和20年度	1,752,968,376	200,000,000	1,704,461,743	248,506,633	22,922,519	271,429,152

年度別増加の主な要因：

①R9：R6 ホットハウス改修（借入5億円：初年度増加+6,656万円）、②R9：R5（仮）中央公園整備事業（借入2億1,060万円：初年度増加+2,510万円）③R10：R6（仮）中央公園整備事業（借入1億5千万円：初年度増加+1,788万円）、④R10：R6 金山小プール改修（借入9,500万円：初年度増加+990万円）、⑤R10：R7 ほ場整備（借入8千万円：初年度増加+998万円）、⑥R11：R7（仮）中央公園整備事業（借入1億5千万円：初年度増加+1,788万円）⑦R11：R8 ほ場整備（上記と同額）、⑧R12：R8 中学校改修（借入1億3千万円：初年度増加1,550万円）

年度別償還表 直診

※発行額は現在財政計画の積算へ含んでいる金額のみ反映しています。

(単位：円)

年度	前年度末残高	発行額	年度末起債残高 (未償還元金)	元金	利子	償還額合計
令和4年度	106,407,437	13,700,000	107,657,179	12,450,258	106,970	12,557,228
令和5年度	107,657,179	22,500,000	117,562,036	12,595,143	136,996	12,732,139
令和6年度	117,562,036	0	104,363,076	13,198,960	274,155	13,473,115
令和7年度	104,363,076	0	91,147,663	13,215,413	225,648	13,441,061
令和8年度	91,147,663	0	75,194,098	15,953,565	207,652	16,161,217
令和9年度	75,194,098	0	60,671,483	14,522,615	178,600	14,701,215
令和10年度	60,671,483	0	48,391,553	12,279,930	155,001	12,434,931
令和11年度	48,391,553	0	37,834,948	10,556,605	133,052	10,689,657
令和12年度	37,834,948	0	27,712,442	10,122,506	111,163	10,233,669
令和13年度	27,712,442	0	21,727,738	5,984,704	89,461	6,074,165
令和14年度	21,727,738	0	15,721,858	6,005,880	68,285	6,074,165
令和15年度	15,721,858	22,500,000	32,785,073	5,436,785	191,646	5,628,431
令和16年度	32,785,073	0	27,327,222	5,457,851	138,526	5,596,377
令和17年度	27,327,222	0	23,768,236	3,558,986	118,918	3,677,904
令和18年度	23,768,236	0	20,525,160	3,243,076	105,548	3,348,624
令和19年度	20,525,160	0	17,269,064	3,256,096	92,528	3,348,624

年度別償還表 農業集落排水

※発行額は現在財政計画の積算へ含んでいる金額のみ反映しています。

(単位：円)

年度	前年度末残高	発行額	年度末起債残高 (未償還元金)	元金	利子	償還額合計
令和4年度	85,614,545	63,800,000	128,753,181	20,661,364	1,544,902	22,206,266
令和5年度	128,753,181	8,000,000	121,930,000	14,823,181	1,145,936	15,969,117
令和6年度	121,930,000	0	114,285,062	7,644,938	696,980	8,341,918
令和7年度	114,285,062	0	107,122,442	7,162,620	567,155	7,729,775
令和8年度	107,122,442	0	96,542,658	10,579,784	508,776	11,088,560
令和9年度	96,542,658	29,500,000	115,602,801	10,439,857	465,518	10,905,375
令和10年度	115,602,801	0	105,120,307	10,482,494	445,424	10,927,918
令和11年度	105,120,307	74,500,000	169,094,918	10,525,389	402,136	10,927,525
令和12年度	169,094,918	0	158,526,377	10,568,541	415,871	10,984,412
令和13年度	158,526,377	0	145,546,179	12,980,198	371,197	13,351,395
令和14年度	145,546,179	0	134,616,690	10,929,489	328,254	11,257,743
令和15年度	134,616,690	0	118,416,947	16,199,743	289,422	16,489,165
令和16年度	118,416,947	0	103,204,066	15,212,881	247,927	15,460,808
令和17年度	103,204,066	0	91,203,526	12,000,540	210,446	12,210,986
令和18年度	91,203,526	0	79,175,067	12,028,459	182,528	12,210,987
令和19年度	79,175,067	0	67,232,151	11,942,916	154,654	12,097,570
令和20年度	67,232,151	0	55,261,833	11,970,318	127,253	12,097,571

年度別償還表

公共下水道

※発行額は現在財政計画の積算へ含んでいる金額のみ反映しています。

(単位：円)

年度	前年度末残高	発行額	年度末起債残高 (未償還元金)	元金	利子	償還額合計
令和4年度	1,010,172,371	46,900,000	952,031,885	105,040,486	13,016,217	118,056,703
令和5年度	952,031,885	46,100,000	889,456,632	108,675,253	11,842,668	120,517,921
令和6年度	889,456,632	48,900,000	825,919,169	112,437,463	10,683,389	123,120,852
令和7年度	825,919,169	35,900,000	747,270,211	114,548,958	9,371,530	123,920,488
令和8年度	747,270,211	43,900,000	677,571,131	113,599,080	7,999,614	121,598,694
令和9年度	677,571,131	68,400,000	637,890,659	108,080,472	6,713,788	114,794,260
令和10年度	637,890,659	68,400,000	607,313,834	98,976,825	5,615,298	104,592,123
令和11年度	607,313,834	41,500,000	561,298,427	87,515,407	4,695,730	92,211,137
令和12年度	561,298,427	41,500,000	532,922,456	69,875,971	3,745,584	73,621,555
令和13年度	532,922,456	4,500,000	484,507,758	52,914,698	3,153,705	56,068,403
令和14年度	484,507,758	0	438,410,914	46,096,844	2,730,023	48,826,867
令和15年度	438,410,914	0	394,780,006	43,630,908	2,434,434	46,065,342
令和16年度	394,780,006	0	351,347,112	43,432,894	2,188,623	45,621,517
令和17年度	351,347,112	0	308,622,563	42,724,549	1,971,423	44,695,972
令和18年度	308,622,563	0	266,291,586	42,330,977	1,756,007	44,086,984
令和19年度	266,291,586	0	227,151,633	39,139,953	1,543,073	40,683,026
令和20年度	227,151,633	0	190,187,950	36,963,683	1,339,111	38,302,794

※資本費平準化債は令和10年度まで仮設定

年度別償還表 水道

※発行額は現在財政計画の積算へ含んでいる金額のみ反映しています。

(単位：円)

年度	前年度末残高	発行額	年度末起債残高 (未償還元金)	元金	利子	償還額合計
令和4年度	388,486,691	0	325,609,200	62,877,491	8,078,842	70,956,333
令和5年度	325,609,200	40,000,000	307,193,098	58,416,102	6,361,614	64,777,716
令和6年度	307,193,098	80,000,000	336,163,735	51,029,363	5,141,148	56,170,511
令和7年度	336,163,735	14,900,000	306,569,700	44,494,035	4,424,722	48,918,757
令和8年度	306,569,700	0	265,951,528	40,618,172	3,593,405	44,211,577
令和9年度	265,951,528	0	231,428,621	34,522,907	2,796,729	37,319,636
令和10年度	231,428,621	0	210,108,037	21,320,584	2,186,440	23,507,024
令和11年度	210,108,037	0	186,482,568	23,625,469	1,776,317	25,401,786
令和12年度	186,482,568	0	175,287,107	11,195,461	1,427,881	12,623,342
令和13年度	175,287,107	0	163,264,278	12,022,829	1,306,311	13,329,140
令和14年度	163,264,278	0	151,115,078	12,149,200	1,179,940	13,329,140
令和15年度	151,115,078	0	138,837,577	12,277,501	1,051,639	13,329,140
令和16年度	138,837,577	0	126,429,803	12,407,774	921,366	13,329,140
令和17年度	126,429,803	0	114,526,087	11,903,716	792,420	12,696,136
令和18年度	114,526,087	0	103,277,408	11,248,679	675,493	11,924,172
令和19年度	103,277,408	0	93,447,525	9,829,883	576,335	10,406,218